

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup>煌めけ生徒！！



# とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第5号

令和6年9月19日



七中 HP URL

## 世界を視野に入れて

校長 水越 伸朗

2学期が始まり3週間が経ちました。9月とは思えぬ暑い日が続いていますが、子どもたちは前向きに学校生活を送っています。保護者の皆様には、三者面談や部活動の応援等、夏休み中もご協力いただきありがとうございました。2学期も引き続き教育活動へのご理解、ご支援よろしくお願いたします。

2学期は2年生の校外学習にはじまり、3年生の修学旅行、1年生の農業体験と各学年の取り組みがあります。そして10月には合唱コンクールがあります。これらの行事を通して、子どもたちはさらに成長していくことと思います。ひとりひとりが行事のねらいを理解して、目標をもって取り組むことを願っています。

さて、今年の夏休みは、パリオリンピック、パラリンピックが開催され、日本選手団も大いに活躍しました。始業式では、オリンピックを通して感じたことを話しましたので、その一部を紹介いたします。

～始業式講話より抜粋～

1学期の終業式でも話したように、今年は夏休み期間中にパリオリンピックが開催されました。日本選手団の活躍も華々しく、海外で行われたオリンピックでは最多のメダルを獲得しました。開会式で旗手を務めた、立飛ホールディングス所属の江村美咲選手も、フェンシング団体で銅メダルを獲得しました。皆さんも、様々な競技を見て声援を送ったことでしょうか。また、選手の一生懸命なプレーや演技に感動した人も多くいることでしょうか。

その日本の選手たちですが、近年、外国の指導者の下、海外に拠点を置いて活動するアスリートが増えてきました。陸上女子やり投げで金メダルを獲得した北口榛花選手や馬術で銅メダルを獲得した日本チームもそうです。また、バスケットボールやバレーボールの男子、フェンシング等、国内で外国の指導者の下、活動しているチームあります。外国を拠点に活動したり、外国人の指導者の下で活動することの利点は、その競技の発祥の国や盛んな国から、最新の練習方法や情報を取り入れることができるからと言われています。ひいては、競技力の向上につながります。逆に、日本発祥の柔道では、外国人選手が日本の大学や道場で稽古に励んでいます。日本で活動する外国人の柔道選手も、実力のある選手が日本には多くいるという練習環境があるからだと言われています。

このように、様々なスポーツが国際的に交流されるのは、とても素晴らしいことだと思います。より専門的なトレーニングを行うとともに、言語や文化などの様々な知識を得ることで、より競技力が向上することと思います。

皆さんも将来は社会の一員として働いていくことと思います。そのためにも、知識や教養を身につけ、世界を視野に入れ、様々な国と交流できる人になってもらいたいと願っています。